ふくろう新聞

＜発 行＞
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会

洲本市中川原町中川原 28 番地 1
TEL：0799-25-8550
FAX：0799-25-8551
ホームページ
http://hyoufuku.main.jp/fukurou/

地域交流会総会
会長に沖田久雄さん

4月28日(日)に「淡路ふくろうの郷地域交流会総会」が16名の出席で開かれました。

平成30年度の事業報告、新年度役員選出、新年度事業計画について意見を交わしました。

新たな会員の参加もあり26名で構成され、会長に沖田さん、副会長に宇城さん、山田さんに決まりました。

1年間、入居者の皆様に楽しんでいただけるよう無理のない交流をと話合われました。

地域の皆様にご協力をいただきながら1年間楽しく交流できるよう務めていきます。

会長　沖田久雄
副会長　宇城守・山田政男
相談役　畑田孝夫・平野俊和
委員　井関義和・木原勝博
古庫真一・駒勢康雄
高田長俊・中谷稔
（生活援助主任　加野明宏）

4月の終わり、うれしいお客様がありました。竹邊さんのお兄様です。竹邊さんが入院したことを聞いて「会っておきたい」と思われたようです。数十年ぶりとのことでしたが、会った瞬間竹邊さんは涙。お兄様は4歳上とのことでしたが、まだまだお元気。近況を語られて、「また来るから」と帰っていきました。

施設見学会　入居者との交流を経て

4月14日に実施の施設見学会には、2人に参加いただきました。

神戸市長田区の施設建設予定地、ふくろうの郷、中川原ふれあいセンターの順で案内しました。

大阪の大学4回生の赤山さんは、「昨年、ふくろうの郷で1か月実習を経験した。入居者と関わる中で学ぶことの多さに感動した。卒業後は是非、ふくろうの郷で介護の仕事をしたいとの思いが強くなった。」と嬉しい感想をいただきました。またもう一人の見学者、神戸市在住の小野さんも「大学在学時手話サークルで学んだことがきっかけで、聴覚障害関係とつながってきた。神戸での施設の開所に向けての学習会にも参加している。何らかの形でお手伝いしたい。」との思いを語られていました。

今後も定期的に見学会を開催してまいりますので、興味のある方は是非ご参加ください。

▲入居者と談笑する
赤山さん(左側真中)と小野さん(左側奥)

中川原春まつり

4月7日中川原春祭り、今年もふくろうの郷にだんじりと獅子舞が訪ねてくださいました。

身近で見る迫力ある姿に、伝統の重みと豪華さを楽しむことができました。普段なかなか外に出る機会の少ない木下さんも、この日は青空の下、春の雰囲気を感じられる時間となりました。

御協力いただいた中川原地域の皆様、本当にありがとうございました。

▲だんじりを背に全員集合！

ふくろう物語
小倉裕子さん

▲絵手紙を手に笑顔の小倉さん

昭和9年3月16日に大阪市で産まれ、生後すぐに、神戸市垂水区に来ました。上に2人の兄が居り、3人兄妹です。両親、兄たちは健聴者で、小倉さんが3才の時に患った麻疹の高熱により、失聴しました。

その後、肉親とのコミュニケーションは、筆談や手振り身振りで行っていました。

学校は、垂水区にある神戸ろう学校に歩いて通っていました。学校生活の中ではクラブ活動や運動は特にせず、自宅でテレビを観たり、手芸をしたりして過ごしました。

定年まで清掃の仕事
入所後は手芸や絵手紙を楽しみながらの生活

卒業後、毎朝四時に起きて元町駅にある病院の清掃と朝食の仕度の仕事に就き定年まで勤めました。両親と暮らしていましたが、亡き後は、上のお兄様と奥様と同居されていました。その後2人の兄が亡くなり、お兄様の嫁様との2人暮らしをしていましたが、平成30年の4月には認知症が進んだため、以前からのみんなで建設運動に励んだ、ふくろうの郷のショート利用が始まりました。

入居当初は車いすで過ごされていましたが、ユニットには聴覚障害の入居者もおられ、手話を利用してコミュニケーションを取り、それに伴い日に日に笑顔が増えました。

また、ふくろう大学や朝の会も積極的に参加し楽しんでおられます。特に手芸や絵手紙などに参加し集中して取り組んでいます。

普段の日はリビングでテレビ視聴をして過ごされたり、ぬり絵を楽しんでいます。

ふくろうの郷での生活を尋ねると「ふくろうは綺麗だから嬉しい。綺麗なのは良い。ふくろう大学も楽しい。」と話されます。

以前、掃き掃除をしていただいた際に体がふらついてしまい思うようにできなかったことがありました。そのため「掃除がしたい。でも体が無理。」と残念がる様子もありました。これからも小倉さんの希望を聞きながら、より楽しく快適に過ごしていただける支援をしてまいりたいです。

（生活援助員　國久洋志）

政田勉さん、きくゑさん結婚６０周年のお祝い

▲お祝いのネームプレートを手に記念撮影

平成 29 年に入居された政田勉さん、きくゑさんご夫婦は、このたび結婚 60 周年のダイヤモンド婚を迎えられました。4 月 24 日、娘さんやご兄弟がお祝いに来られ、記念写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせたりと、賑やか笑い声が響き渡りました。

ご夫婦はとても喜び、終始にこやかで、楽しいひと時を過ごされました。

いつも寄り添って過ごされている政田さんご夫婦。勉さんはきくゑさんの姿が見えなくなると、すぐに心配され、職員に居場所の確認をされます。また、きくゑさんがリビングでウトウトされていると顔をのぞきこんだり、肩を叩いて合図をされ、勉さんのきくゑさんに対する愛情の深さがうかがえます。

これからもご家族との交流を大切にしながら、ご夫婦での時間を大切に過ごしていただきたいと思います。

（相談員　太田秋菜）

職員研修「身体拘束・虐待防止について」

認定社会福祉士の吉田麻希氏を講師に迎えて、ふくろうの郷・ふれあいセンター職員合同研修会「身体拘束・虐待防止について」を4月17日に実施し、職員31名が参加しました。

身体拘束については本人の安全のためであっても拘束になると厚労省が定めている。適切な手順をふみながら施設全体で取り組む必要があるとの話があった。虐待防止法は高齢者や障害者及び家族だけを守るための法律ではなく、施設や事業所等に従事する我々職員への支援等も含まれる法律であることを知っておいてほしい。本人の人権尊重・保障を軸に据えながら安全の確保をどのように図るのかを職員間で話し合いプロセスを大事に多方面からのモニタリングを行い施設全体で課題に向き合い続けていくしかないとのお話がありました。

普段の介護を含む全ての援助行為を振り返る機会となり、客観的な立場での助言や相談できる機関や人間関係作りをしていきたいとの感想がありました。

（相談員　瀬田栄美）

▲研修を受ける職員

積極的な姿勢でよりよい生活を目指して
～2019 年淡路ふくろうの郷自治会総会開催～

議長候補について説明を行う際に、宮崎稔子さんが積極的に手を挙げて頂き、議長を担いました。職員援助のもとに、２０１８年度事業報告・決算、２０１９年度の事業計画・予算の報告を行いました。総会資料をプロジェクターに映し、ゆっくりと報告を行いました。採決は満場一致で承認されました。２０１９年度の自治会役員選挙を行い、吉見輝子さんに２期会長を引き受けて頂きました。今後、毎月の入居者懇談会で入居者の意見を出してもらいながら、ふくろうの郷でのよりよい生活を目指していきたいと思います。

(生活援助員　山田 繁和)

会　　長…吉見　輝子　　副会長…黒崎　時安
事務局長…田中　　豊　　会　計…北風　章子
企画担当…長谷川　清　　生活担当…松崎　惠子
食事担当…勝楽　佐代子　監　事…北川　他久美
ユニット代表(花木)…長谷川　清、岸本久美
(星海)…松崎　恵子、竹邊　正晴
(月川)…勝楽　佐代子、榎本廣次

▲一年間よろしくお願いします。

▲演劇担当の職員・庄崎隆司さんより挨拶

「ふくろうふれあい座」誕生
～ふくろう大学開講式～

４月 16 日、自治会総会の後、ふくろう大学開校式が執り行われました。今年度は、従来の料理講座、書道、絵手紙に加えて新たに演劇が始まります。開講式の際、演劇担当の庄崎職員より挨拶をいただきました。

「勉強や絵は苦手だなぁ」という方にもぜひぜひ参加していただきたいです。
入居者のみなさんの新たな一面が発見できるかもしれません。

練習の成果は、初夏祭りやふくろうふれあい祭りで披露していきますので、みなさんご期待下さい。

(生活援助員　中村　久香)

淡路聴覚障害者センター便り

洲本市港 2-26
洲本市健康福祉館３階

今年度の手話奉仕員養成講座が始まり 41 名の申し込みがありました。

洲本市昼・夜・南あわじ市・淡路市の 4 会場の開講式では開催市の福祉課長よりご挨拶いただき、式終了後には受講生の皆さんは緊張した雰囲気の中、早速学習が始まりました。

▲全身を使って身振りで表現する受講生

さあ、始めよう。　学ぼう、手話を。　～ 手話奉仕員養成講座 ～

まずは伝えあってみましょう

日常生活の身近な物を身振りで表現しました。乗った経験のある「自転車」や「車」、また、「鉛筆」や「ボールペン」のように似たような使い方の仕草を特徴を捉えて考え、表現しました。中には身体全体を使って表現したり、初めて手話を学ばれる受講生の皆さんは緊張や戸惑いながらもそれぞれに工夫し、積極的に身振り等で伝えあいました。

一年後の修了式の頃には

これから一年の講座では、手話技術とともに、ろう者の暮らしや歴史も学んでいただき、修了式には手話で会話ができるようになっていることと思います。そして、一人でも多く聴覚障害者への理解が深まっていくことを期待しています。

（楠本　恵利子）

受講生の感想と抱負

・手話を覚えるのは大変と聞いたが、それを乗り越えて習得したい。
・難しいと思うが、皆で仲良く学びたい。
・分かりやすく教えてもらい良かった。
・これからは日常で何気なく使っている物にも色んな表現の違いを見つけていきたい。

～新しく入荷しました～

新しい書籍・ＤＶＤが入荷しました。自宅での学習やサークルなどでもご活用ください。

南あわじ市・淡路市に手話通訳者設置

今年度 5 月から、南あわじ市・淡路市に、手話通訳者が設置されることになりました。設置日は淡路聴覚障害者センターの職員が対応します。設置日以外は従来通り同センターを利用下さい。尚、洲本市は従来通りです。

市役所内での手話通訳や聞こえについての悩み・困りごと相談など気軽にご利用ください。

南あわじ市役所　福祉課
毎週木曜日 10 時～16 時

淡路市役所　地域福祉課
毎週火曜日 10 時～16 時

お　知　ら　せ

昨年度まで「移動相談」として各地域を巡回していましたが、今年度より、移動相談はなくなります。今後は家庭訪問というかたちで各地域を巡回致します。どうぞよろしくお願い致します。

中川原高齢者・障がい者地域
ふれあいセンター

〒656-0002
兵庫県洲本市中川原町中川原222-2
TEL　0799-28-0990
FAX　0799-28-0992

農福の取り組み
新玉ねぎ収穫始まる

昨年9月に種をまき、苗を育て11月から苗植え、肥料まき・草取りなど様々な作業をし6か月かけてやっと育った大きな玉ねぎです。育て上げた成果が今笑顔。今回は初めて収穫が極早生（レクスターを作り4月15日から収穫し約8トンの収量で業者に出荷ました。そして今は次の七宝早生品種の玉ねぎを5月連休明けから収穫予定。6月から中生「ターザン」を出荷業者から玉ねぎ掘り機と拾い機台を借り収穫作業をする予定。みんなくたくたになりながらも収量約35トンを目標に頑張っています。（農作業班　中島）

▲新玉ねぎの根切りをし、収穫・出荷を作業しています。

第一弾　おのころ農園
特産淡路玉ねぎ生産直売！

淡路島の新玉ねぎは、皮がやわらかく、
みずみずしいのが特徴。甘くてやわらか。
生食するなら“新玉ねぎ”が断然おいしい！
美味しい「新たまねぎ」をお届けします。

1箱　5kg入1,200円/送料　830円
1箱10kg入1,800円/送料　1,080円

（全国発送いたします、※但し北海道・東京・沖縄は別料金になります。）

※申込期間：令和元年5月～5月下旬

○連絡先：おのころの家
TEL　0799-28-0995
FAX　0799-28-0992

予告：第2弾【中生（ターザン）　6月～7月予定】

暮らしを考える利用者会議を目指して

毎月第3水曜日、利用者会議を開いています。今月の議題は、今年度の旅行・意見・要望でした。昨年度は、お出かけの機会がなく、今年度はどこかに行きたい。ということで意見が出されました。大坂城、神戸どうぶつ王国、神戸空港などがあがりました。聴覚障害者センターの社会生活教室でも施設見学等があるので、みんなの意見を基に相談して決めることにしました。

要望としては、

・草刈りした後使うガンジキが一つ壊れているので、新しくしてほしいこと。

・昼食のメニューに巻き寿司・ちらす寿司・ピザ・スパゲティ・オムライス・たこ焼き・焼きうどん・焼きそば等入れてほしいという意見が出しました。　（管理者　橋詰一則）

「ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業」

2019年4月15日（月）・16日（火）2日間で、おのころの家への農福実習をしました。ここは素晴らしい時間でした。通所している人たちは、年齢に関係なく高齢ろう者と発達障害の人たちが一緒に働いていました。私は彼らに会って一緒に仕事ができて嬉しかったです。お互いに助け合って、作業をしていました。

素晴らしい経験になりました。ネパールに戻っても学んだことを生かしていきたいと思います。あなたの援助とサポートに感謝します。（翻訳）

2019/4/17

ONOKORO - House

It was great time here. No matter the age This plase where the old age Deaf persons and mental sick Persons work. I am happy to meet them and work, hellp and sharing exprience.

It was great experience to me. I want to share In my country same like Nepali Old age · Deaf persons and mental sick persons. thank you For your hellp and support.

Sunita thapa
20th Duskin Trainne
Nepal.

▲ 第20期ダスキン研修生
スニタ・タパさん（ネパール）

神戸事業所
共同作業所 神戸ろうあハウス
神戸ろうあハウス デーサービスセンター
〒652-0897
兵庫県神戸市兵庫区駅南通 5-4 西高架下 16 号
TEL & FAX：〇七八・五七九・〇七五五

令和元年5月1日 「相談支援事業所 ふくろう」開所

令和元年 5 月 1 日に指定一般・特定・障害児相談支援事業として、神戸市須磨区の JR 鷹取駅から徒歩 7 分の「須磨の家」にて、相談支援事業所ふくろうが開所しました。

当事業所では、聴覚障害者・児をはじめ、障害を持った方が安心して地域での暮らしを作るためのお手伝いをさせていただきます。

「一般企業で働いてきたけど働けなくなった、就労支援継続 B 型事業所に行ってみたい。」「一人で暮らしているけれど、家の片づけができない」、「ヘルパーに来てほしい」、など生活での困りごとをご相談ください。福祉サービスを使うための計画を作り、事業者との連絡調整などをお手伝いします。

また、以前はろうあ協会の行事に来ていたけれど、最近見ない、どうやらひとりぼっちで生活が大変そうだなど地域で困っている方の情報があれば、お知らせください。必要な支援につなげるお手伝いをします。

指定一般・特定・障害児相談支援事業

「相談支援事業所　ふくろう」

654-0024
兵庫県神戸市須磨区大田町 7 丁目 3-21
TEL090-6238-7617　FAX078-579-0755
Mail　soudan.fukurou@gmail.com
担当者　竹原　哲章

▲中川原地域の後藤朝一さん作成

神戸施設建設募金

目標　1 億円!!

2019.5.1 現在　募金合計額
63,033,945 円
（プレート募金 170 人）
目標 1 億円まで、あと
36,966,055 円

目で聴くノンバーバルの世界
ろう者と聴者が織りなす感動の手の芸術パフォーマンス

第 1 部　10:00~12:00　ワークショップ
「ボディランゲージ遊学のススメ」
参加協力費　大人 1,000 円　小学生 500 円

第 2 部　13:30~15:00　独演会
「賢治の詩　折鶴の詩」
参加協力費　1,500 円（大人・子ども）

7 月 15 日（祝・月）

会場：新長田勤労市民センター3 階大会議

5 月・6 月　ふくろうの暮らし

5/15（水）ふくろう喫茶
5/21（火）おのころ屋パン販売
5/24（金）ふくろう大学料理講座・回想法
5/25（土）ふくろうの郷家族の会総会
6/1　（土）地域交流会手話講座
6/3　（月）ふくろう理髪店・おのころ屋パン販売
6/4　（火）誕生日会・ふくろう大学ふくろうふれあい座
6/11（火）ふくろう大学書道講座
6/14（金）ふくろうカクテル＆ライブ
ふくろう工房手芸
6/15（土）初夏まつり
6/18（火）ふくろうの郷自治会懇談会
ふくろう大学絵手紙講座
おのころ屋パン販売

施設見学・研修予定

6/2　（日）兵通研集会　50 人
6/25（火）浅口市鴨方地区民生委員児童委員協議会様　30 人

施設見学の感想

・ろうあに生まれたために精神障害者にされたり、きちんとした教育を受けれなかった方にふくろうの郷は救いの場所だと思いました。
・私のいとこがろう者です。普通の小・中学校に通学。まったく配慮なく、知的障害者のように扱われました。手話も知りません。愛媛でもろう者が少しでも幸せに暮らせるよう何かできないか考えさせられました。

伊予ハンズ（愛媛県手話サークル）